



未来研
小川 良一
議員

土木行政と市民要望について

問 過去2年間の防犯灯の新規整備状況はどうか。

答 市民部長 平成26年度が70件、平成27年度が50件です。いずれも新規で、それぞれ178万3千620円と、127万6千354円です。その他に、老朽化による建て替えや玉切れ等の交換工事を実施しています。

問 要望書は一度提出すれば、工事完了まで有効か。

答 市民部長 前年のまでの申請を翌年度施工するという工程で、要望書どおり設置させていただいています。

問 土木関係での、過去5年間の要望

件数、完了件数、かかった費用、未着工件数、完了までに要する費用はどのくらいか。

答 都市建設部長 舗装工事要望は69件、完了したのは21件、費用は約1億円です。道路排水工事が要望87件、完了が27件、費用が2億2千万円です。道路改良工事は要望22件、完了が4件、費用が3億4千万円です。水路整備工事が要望が51件、完了が9件、費用が2億4千万円です。5年間の要望件数が229件、完了済みが61件、総額で約9億円の実績でした。5年間の未整備件数は168件、概算工事費合計は23億円です。

問 土木関係でも、要望書は一度提出すればよいか。

答 都市建設部長 各区からの要望については、要望年度ごとあるいは地域ごとに要望書台帳を作成して、処理未処理が確認できる管理台帳として整備しています。申請年度に事業が完了に及ばない場合でも、この管理台帳により把握していただきますので、次年度以降に引き継がれます。

問 要望書を提出してから完了するまでに、5〜6年かかっているが、1〜2年で処理できるような対応ができないか。

答 市長 私どもも関連の事については促進をしたいと考えています。市の土木予算は、近隣の市町村と比べてもかなり多い状況です。原因としては、津波の被害もありまして、やはり防災関連に対する予算を非常に多額に計上させていた

だいているため、予算の中に占める土木費の割合は、大変大きくなっています。また、業務量、人員の配置についても、なかなかやりきれないところまで来ているということも事実です。全体的な予算編成の中で、私どもも可能な限りご要望にお応えできるようにはしたいと思っておりますが、今のご要望の倍やっけていくということまではなかなか予算がつけられないかなと思っております。できる限り努力をしていきます。



要望により設置された防犯灯とカーブミラー